

浜井産業株式会社



代表取締役社長
井上 忠

栃木県
足利市福富新町1480

1938年(昭和13年)設立
Tel 0284-71-0018

<http://hamai.com/>

“磨く”技術でIT産業の
発展に貢献

HDD、半導体の製造等に使用される超精密ラップ盤を製造。国内シェア8割。

ラップ盤とは

ラップ盤は、高い精度を求められる加工表面の仕上げ用に用いられる工作機械。精密部品の加工には欠かせず、ガラス基板、半導体基板、セラミックス、水晶など、極めて高い精度を要求される分野の平行平面加工に幅広く使用されている。

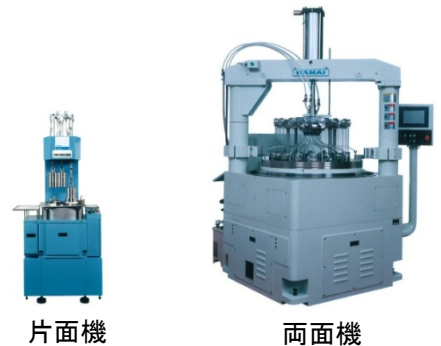
ラップ板と呼ばれる円形の板と加工対象物（工作物）との間にラップ剤（微粉の砥粒）を加え、工作物をラップ板に押し付けることにより、工作物表面をごく微量削り取って滑らかに仕上げる（右図）。



超精密のカギは滑らかな“流体軸受”

パソコンの高性能化によるHDDの小型化・高記録密度化に伴い、磁性体（ディスク）は、極めて高精度に平滑であることが求められている。このディスク（ガラス板）を研磨し、平滑に仕上げる装置として、同社のラップ盤は国内で8割のシェアを誇る。

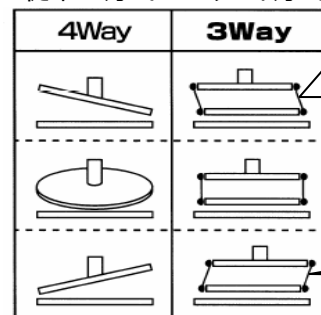
同社のラップ盤は、ラップ板に流体軸受という回転時に非接触状態を保つ軸受けを用いて、ラップ板の相對運動による振れや加工中の振動を限りなくゼロに近づける超精密加工を可能としている。



独自の3ウェイ方式であらゆるものを平坦に

独特の3ウェイ方式により、ラップ板が非回転で固定されているため、工作物へ荷重を着実かつ安定的に伝えることができ、さらに、ラップ板を吊り上げているワイヤーも、伸縮自在であるため、あらゆるワーク形状への適応度が極めて高いという特長を持っている。流体軸受と独自の3ウェイ方式により、同社のラップ盤は、安定した超精密仕上げ加工を可能としている。

従来の方式 3ウェイ方式



上板が下板
に対し常に
平行なので、
荷重を安定
して伝えら
れる

ワイヤー